


分科会の昨日、そして今日

	1日め(昨日)はこんな様子でした	今日はこんなふうに
① 小学生	参加者32名。ひと通り自己紹介。 参加された方の発言への質問を受けてそれを深めたり、親の会の大切さに気づく発言などありました。	分散会に分かれて、親の思いをたくさん出せるようにしたい。
② 中学生	参加者29名。(14名と15名に分かれる) 自己紹介。現状や悩みを時間内に出していたに く。出された現状について互いに学び合えた。	初めての方を中心に話してもらおう。また、1日めの補足の思いを出してもらおう。
③ 高校生	参加者26名。自己紹介一巡で終わる。口火は地元の世話人からの話。	20人以上の場合、2つに分けて充分話しあいたい。 午後は1つにまとまる。
④ 障がい	参加者20名。自己紹介のあと3人の方の話を深め、じっくり聴かせていただく。専門的な話もあり参考になった。手話通訳の方も入った。	新しい参加者の自己紹介。 1日めの参加者と2日めの参加者から出てきたテーマについて深めていきたい。
⑤ 学校との かかわり	参加者40名弱。話題提供のあと2つに分かれる。 学生はじめ、学校外の機関からの参加もあって話が深まった。	全ての人の発言が保障されるように取り組みたい。

〈今日はこんなふうに〉
子どもの権利条約を軸に「非行」について考えたい。

⑥ 青少年期	参加者44名。(15名、14名、15名の3つに分かれる。それぞれ自己紹介。ゲーム、不安、動かしかけ、8050問題などさまざまな話題。	まず、みんなで話すことが大切。
⑦ 進路 自立	3つの分散会を10数人ずつで。「ここに来たら聴いてもらえる」という安心感をもって参加されている方が何人もいらっしや、じっくり話してもらえた。	1日め語りきれなかった方、2日めから参加の方、思う存分話してもらいたい。
⑧A 居場所	参加者16名。自己紹介で分科会参加の理由、関わりについて話してもらおう。フリースペースの悩み、別室登校の様子などについて話した。	自己紹介、いろいろは夕スプの居場所についてついでに話をしたい。
⑧B 居場所	参加者23名。元当事者はじめさまざまな立場から活発な話。いろんな居場所の必要性、居場所間の連携、行政とのつきあい方など出てきた。	午前中はミニ講演(福知山の居場所)をもとに交流。午後は交流中心に進める。
⑨ 家族の 役割	参加者30名。1日めのみ参加の方に発言してもらおう。家族の数だけ悩みがあって交流とまではいかず。広木さんへの質問があり、こたえていただく。	参加された方の思いをじっくり話してもらえる時間にした。
⑩ 手と つばき	自己紹介しながら、親の会の活発な悩みと交流。	東京の親の会の話を聞いて深めていきたい。
⑪ 医療	全員自己紹介。それぞれの悩み、思いを出し合う。 〈今日はこんなふうに〉 医療につながるにはどうすればいいか深めたい!	
⑫ 非行	参加者11名。いわゆる「非行」と言われる行動をした子どもたちへの学校の仕打ちも保護者から話される。	

分科会 感想

① 小学校

抱きしめたい

全国から集まってきた方とお話をきくことができ、勉強になりました。一人ではおなご思いました。早く帰って、子どもを抱きしめたいと思いました()

気持ちあらたに

孫がけみだれ登校ですが今日の話を聞いて、改めて子ども本位、子どもが楽しくおどせるように、命令指示せずにと改めて思いました。又(ふり)に参加させてもらい、気持ちあらたにすこしたいと思いました。()

否定されず

勇気を出して発言したら、否定されず、話してよかったと思えました。きっと子ども、そのおなご気持ちにかなうのだと思えます(家族)

緊張

分科会ではおなごなごといっけなご思って少しきんちょうしていましたが、他の方の色んなおなごがあること、先パイのお母さん方の話をきけてよかったです(家族)

食べる

食の話も可なりよかったと思えました。娘が興味のある食べものを一皿に作ってみる。食べに行ってみるなど。娘の「好き」「やりたい」を大切にこれから娘が歩んで成長していくためにはおなご思いました

新しい考え方

自分のなごみほうまく言語化できなかった。みなさんのご苦労やご意見をうかがって、少し新しい考え方もできるようになったかとおなご思いました(父・京都)



② 中学校

学校の先生が...

学校の先生が話を聞きに来てくれることに感動しました(父・兵庫)

終わっている

制度疲労と機能不全に陥っている学校と学校教育が子どもたちから見はなされてきている姿がクローズアップしてきました。学校は終わりますね(その他・東京)

橋わた(と)

進路(高校進学)を考えると保護者の方は、本当に気持ちがあちかた悪いと思います(辛い)ためもあるだろうと感じます。支援者の立場で子ども、保護者と学校・社会をつなぐ橋渡しができると改めて思いました。(海賀・スクールカウンセラー)



校内居場所

先生がたぶんおなご先生としての立場、考えなど聞いてよかったです。海賀で、全国で、フリースクール(校内居場所)が広がっているのいいなご思いました(父・京都)

向きあいたい

不登校の子どもと保護者の苦悩や当事者の方の気持ちを聞いてきて、とても勉強になりました。これから子どもたちと向きあいたいと思えます(教員・京都)

ゆれます

うちは学校に行くことが多く、フリースクールにも行ってない(本県のフリースクールに所属)ので、リアルな関係へつながりたいおなご思っています。本人が動くのを待つという考えのあたりでゆれます(父・東京)

先生と

先生との連携が大切だとわかった。本当に愛情を持って粘りよく接すること。今までできていなかったんだとおなご思っています(父・大阪)